



安全に、より長く使うために。

公共施設の大規模修繕について

身近な公共施設。生涯学習センターや市民文化会館など、普段から市民のみなさんになじみのある施設のほかに、下水の処理施設や清掃センターなど、日常生活を維持するためにはなくてはならないさまざまな目的の施設があります。

これらの施設は、長期間の使用で傷んだ箇所などを、

計画的に修繕し機能を維持していかなければなりません。修繕を行う施設によっては、期間中に市民のみなさまにご不便をかけることもあります。安全に、より長く施設を使用するための大規模修繕に、ご理解とご協力をお願いします。

焼却炉の基幹的設備を改良

清掃センター

工事費 約25億7,250万円※見込み
(市民1人当たり約22,900円)

修繕の内容 焼却炉の基幹的設備の改良

工事期間 平成27年度まで

期間	主な工事内容
平成25年度	工事実施設計 機器の工場製作
平成26年度	既設機器の撤去 新規機器据え付け 性能試験 ※主な工事期間9月～11月
平成27年度	既設機器の撤去 新規機器据え付け 性能試験 総合性能試験 ※主な工事期間9月～11月

※工事期間中、ごみは近隣の市町や民間の焼却処理施設にお金を払ってごみを焼却してもらう外部搬出処理になります。

生活への影響 基本にごみの受け入れをできるような形で工事を計画しています。(家庭から出るごみの量の削減が大事になります。)

市民のみなさんへのお願い ごみの外部搬出処理費用の抑制、施設の延命化のためには、市民の皆さんのごみ減量化、資源化へのより一層のご協力が必要です。生ごみの減量化や資源ごみの分別回収など、日ごろから各家庭でできる取り組みに、ご協力をお願いします。

背景・目的 ごみ焼却処理施設は平成元年11月に稼働してから約24年ごみを燃やし続けています。近年は処理能力が低下していることから、このままではごみの焼却ができなくなるおそれがあります。こうした事態を回避するため、循環型社会形成推進地域計画や長寿命化計画に基づいて工事を行います。

効果 焼却施設の延命化、二酸化炭素排出量の削減
※改修後に適切な維持補修を実施することで、今後15年間は施設を使えるように延命化が図られます。

問合せ 生活環境課 (☎971-8993)

ごみ減量ワンポイント

①買い物前に冷蔵庫の中をチェック

保存のきかない食料品などを買すぎてごみにしてしまった経験はありませんか？不要なものを買わないことで節約にもつながります。

②ティッシュや菓子などの空き箱も資源に

ビニールや付属物を取り外した空き箱などを、紙袋に入れたり紙ひもでしばったり束にし、ミックス古紙として資源古紙の日に出すことができます。



外壁や大ホール内壁タイル、雨漏りの改修、機械・電気設備の更新など

市民文化会館（ゆうゆうホール）

工事費 約7億9,638万円※見込み
(市民1人当たり約7,100円)

修繕の内容 点検や調査で指摘を受けている設備や外壁・内壁改修、雨漏りに対する改修など。

工事期間 平成28年度まで（予定）

期間	主な工事内容
平成25～26年度	非常用発電設備、中央監視盤設備、防災設備、大ホール内壁タイル改修、外壁改修、屋上防水改修など ※主な工事は5月末で終了予定

※平成27～28年度に大・小ホールの舞台音響・照明設備を改修予定

生活への影響 平成26年2月～5月までは休館となり、ホールや会議室などの利用はできません。休館中も6月以降の利用申請の受付や自主文化事業のチケット販売を行います。

平成27年度以降の休館情報については、工事期間などが決まり次第、お知らせします。

背景・目的 市民文化会館は平成3年の開館以来22年が経過し、施設・設備の各所で経年劣化による老朽化が進んでいるため、利用者が安全で快適に利用できるよう改修工事を行っています。

効果 施設の延命化、安全性・利便性の向上

問合せ 文化振興課（☎983-2672）



下水を浄化するための機械・電気設備を改修

三島終末処理場（浄化センター）

工事費 約9億520万円※見込み
(市民1人当たり約8,000円)

修繕の内容 汚水処理に必要となる機械・電気設備の改修など

工事期間 平成30年度まで

期間	主な工事内容（予定）
平成25年度	揚水ポンプ電動機械設備改修
平成26～27年度	1系沈澱池各機械電気設備改修
平成27～28年度	自家発電設備改修
平成28年度	汚泥引抜ポンプ機械電気設備改修
平成29～30年度	2系沈澱池各機械電気設備改修

生活への影響 施設の処理機能を確保しながら工事を進めるため、市民生活に支障が生じることは基本的にありません。

市民のみなさんへのお願い 環境への配慮や下水道管の保全、悪臭防止のため、油・生ごみ・ガソリンやシンナーなどの危険物・有毒物質を下水道に流さないようお願いします。※飲食店ではグリーストラップ（厨房の油脂を含んだ排水を一時せき止め溜めておく装置）の適正管理をお願いします。

背景・目的 三島終末処理施設は昭和51年11月の供用開始から37年、家庭のトイレや風呂などからの汚水（日量約20,000m³）を浄化して狩野川へ放流しています。平成24年度からは、平成20年度に策定した三島終末処理場長寿命化基本計画に基づき、老朽化した施設の大規模修繕を行っています。

効果 施設の長寿命化、省電力化、汚泥の処分コストの削減。※平成24年度に行った反応タンク機械設備改修工事などの結果、改修前よりも使用電力を約24%削減しています

問合せ 浄化センター（☎977-4835）

